

福島県南相馬市 太田地区の農地再生への取り組み

環境にやさしい農業を目指して

令和7年3月12日(水)
浪江町防災交流センター



農事組合法人あいあぐり太田

奥村 健郎

自己紹介

- 1956年生まれ(68歳)
- 出身地 南相馬市原町区下太田
- 1974年 東北電力入社
- 2008年 東北電力退社(早期)
- 2009年 認定農業者取得
- 2010年 南相馬市議会議員(2期)
- 2017年 農事組合法人あいアグリ太田設立

南相馬市は福島県の北東部で太平洋に面しています

東に太平洋、西に阿武隈高地があり、
自然が豊かで、歴史文化の息づく街です

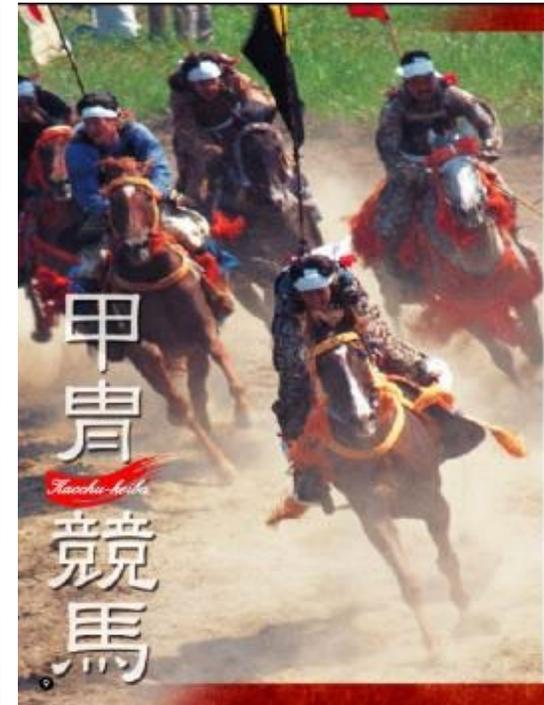


原発までの距離は 8～40 kmです

南相馬市は農業の一次産業を基盤とし、
数々の文化遺産を守り続けるこの地の中心的な都市です。



農業

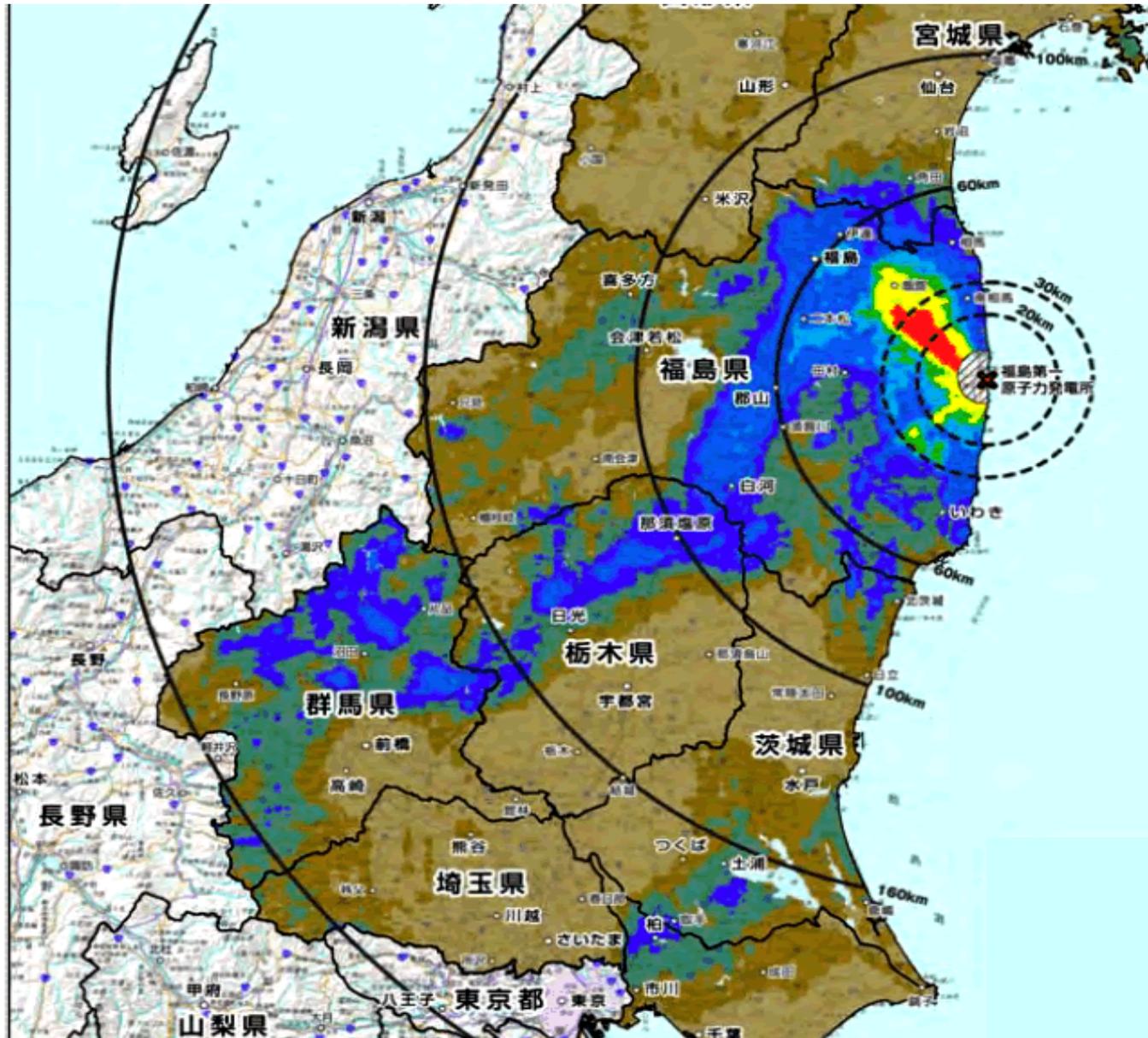


文化遺産



放射能による土壤汚染マップ

(出典:文部科学省 2011年9月データ)

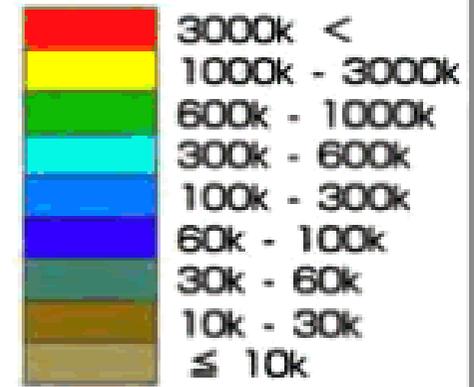


原発から北西方向に
放射性物質が
拡散しました

凡例

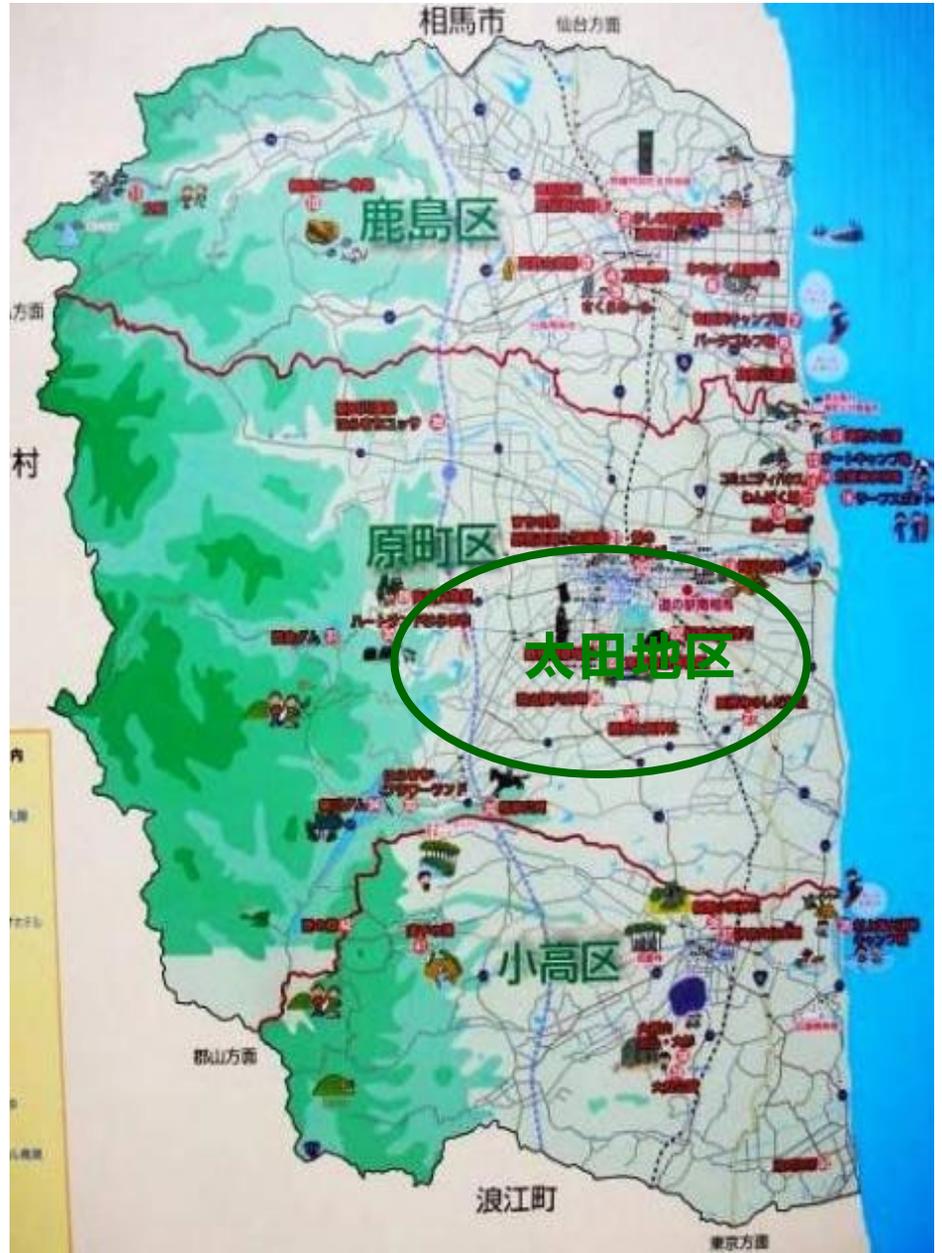
Cs-134 及び Cs-137 の
合計の沈着量 (Bq / m²)

[9月12日現在の値に換算]



測定結果が
得られていない範囲

南相馬市太田地区とは・・・



「太田地区災害対策本部」時系列

平成23年（2011年）

3/11 14：46地震発生

- 3/12 「太田地区災害対策本部」設置 15：36 1号機水素爆発
- 3/13 20K内 避難指示発令 中学校へ避難移動（避難者450名）
- 3/14 11：01 3号水素爆発
- 3/15 6：00 4号機爆発 15：00 2号機爆発音
- 3/15 原町第三中学校から30K圏外の旧相馬女子高に移動
- 3/16 南相馬市民自主避難誘導発表
- 3/18 市災害対策本部にて「自宅生活市民の避難計画」発表
- 3/19・20 バス避難誘導
- 3/25 最終バス避難誘導
- 3/25 自警団・食料支援ボランティア組織結成
（自警団35名、食糧支援24名）
- 4/22 屋内退避→緊急時非難準備区域に変更
- 4/25 ボランティア組織解散（太田地区災害対策本部主体に戻る）

- 7/1 太田地区各種団体役員による「太田地区復興会議」設立

太田地区の復興に向けた考え方

太田地区復興会議

2011年 7月 1日

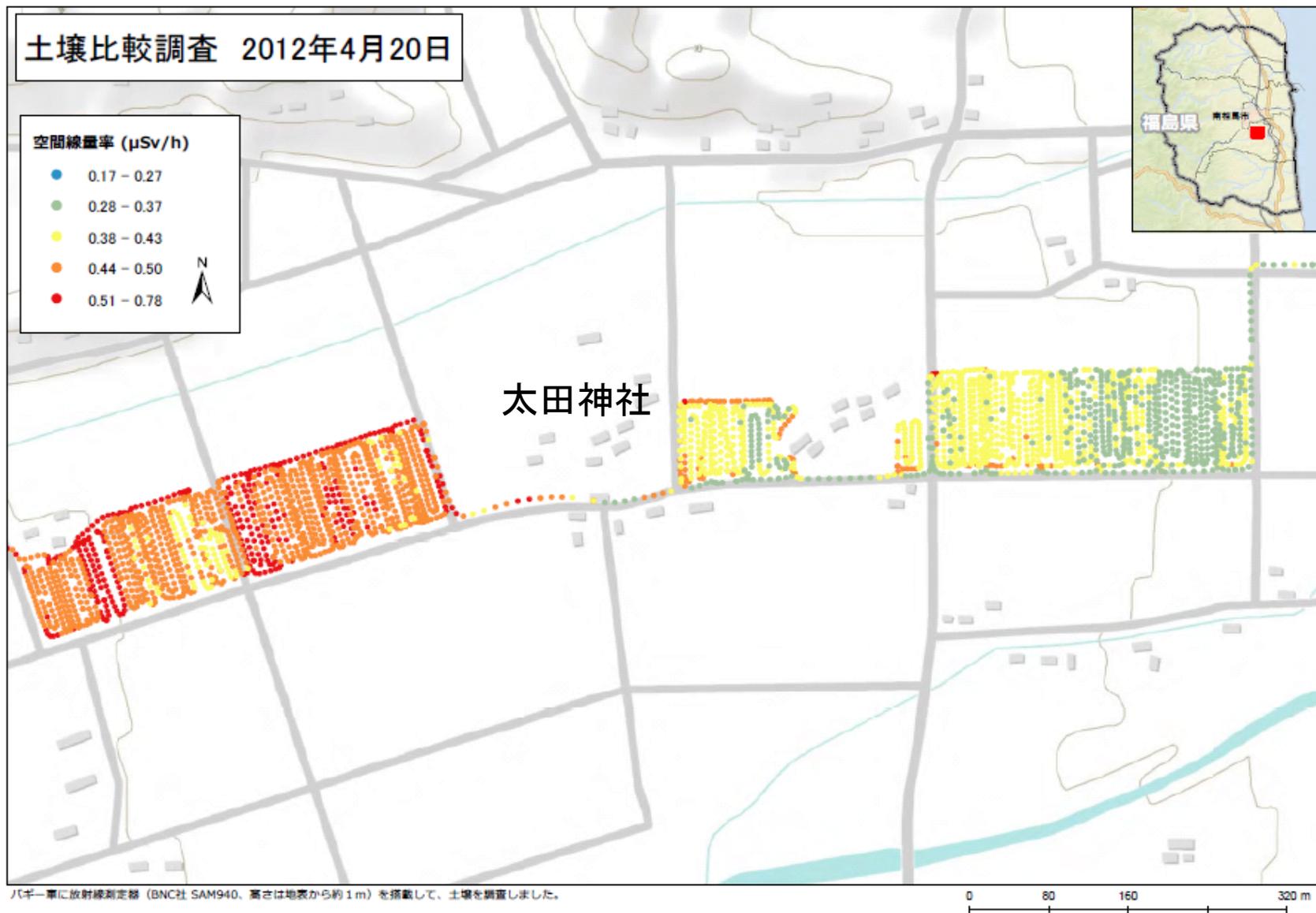
■ 目的

従前以上の魅力ある太田地区を一日も早く回復し、母なる太田川を護り、潤いと活力・次世代を担う子供たちの笑顔を取り戻し、太田地区民全員が安心して戻れる太田地区復興のため活動を展開する。

■ 基本理念

- (1) 私たちの地域は私たちの手で保全し護(防衛)っていく。
- (2) 地域の課題は地域協同(力・心を合せ)で解決する。
- (3) 地域で解決できないことは行政や民間事業者と一緒に解決する。

「野馬追いの里ひまわりプロジェクト」放射線量事前測定



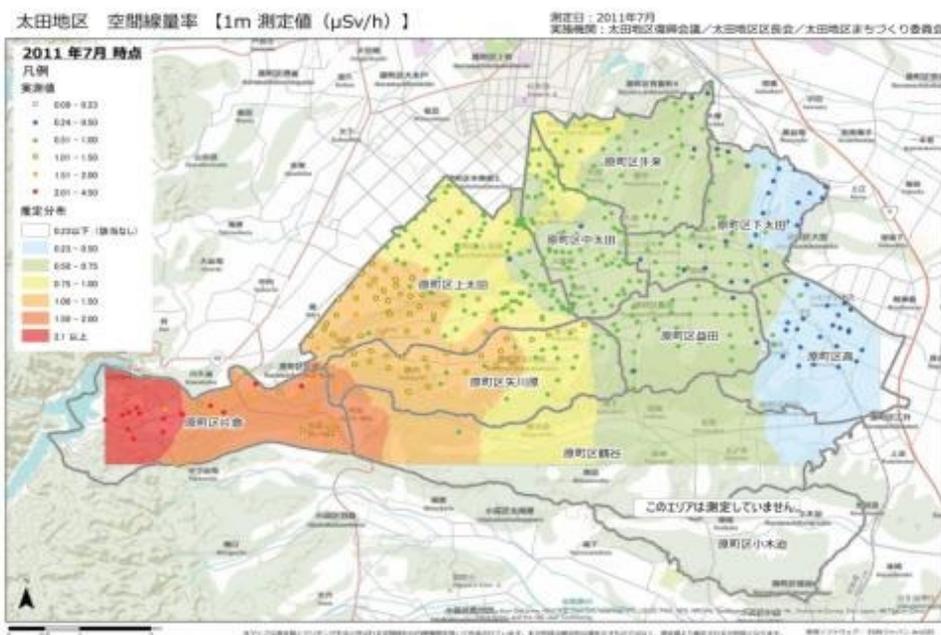


太田地区13行政区放射線量測定

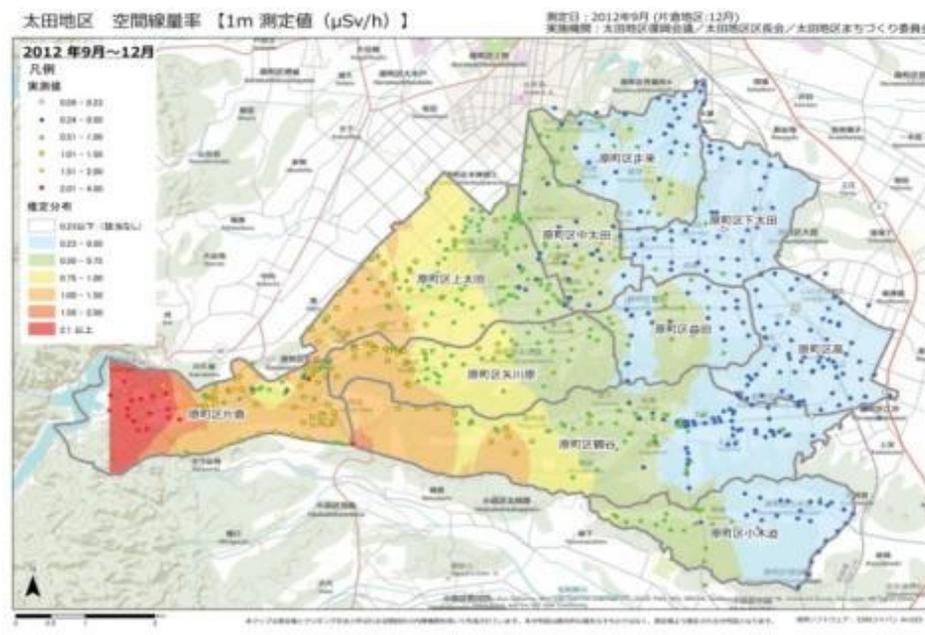


太田地区線量マップ

線量の比較 地上 1m

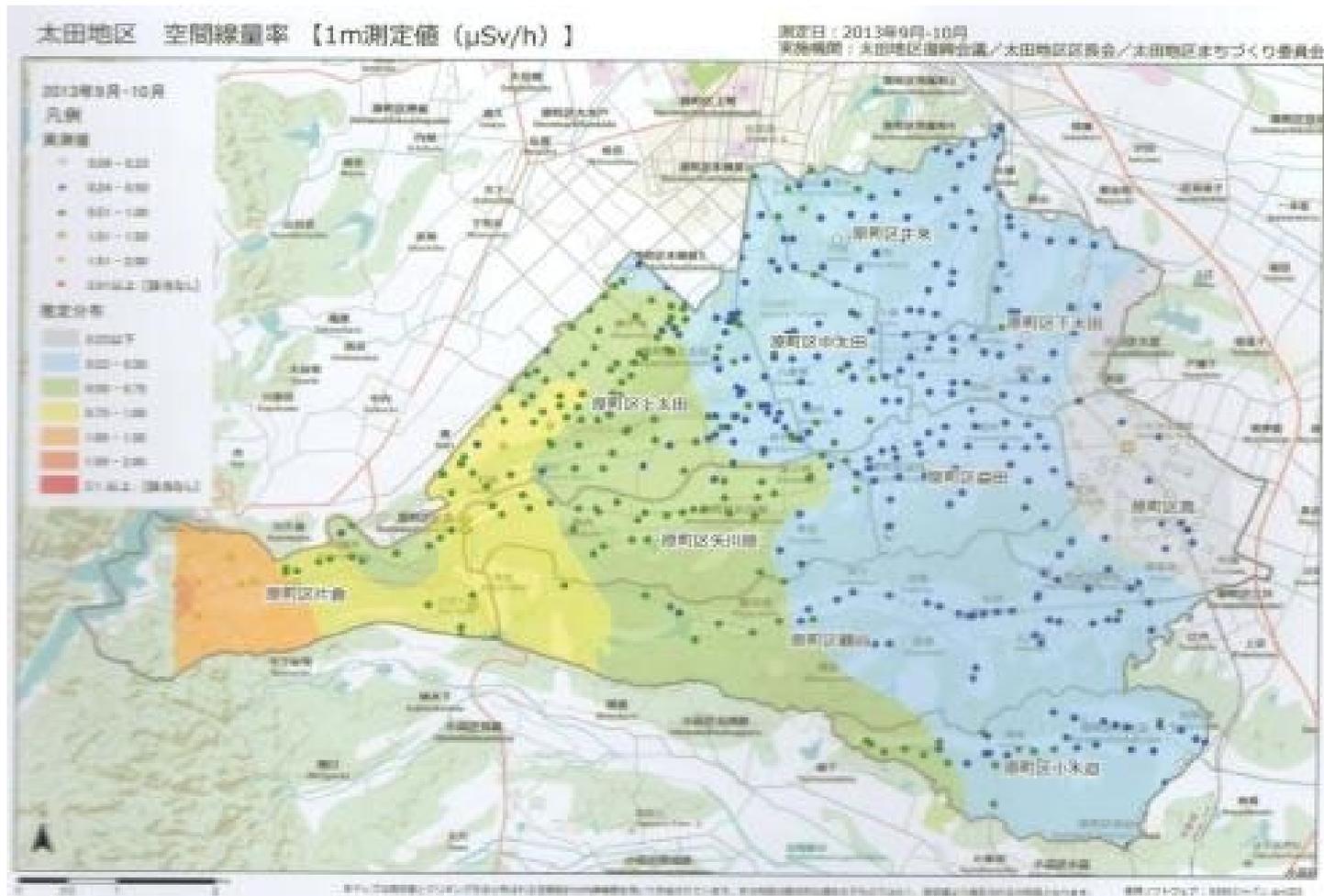


2011年7月 測定



2012年9月～12月 測定

太田地区線量マップ 2013年作成



相馬野馬追 ひまわりプロジェクト

開催日 7月28日・29日・30日



ボランティア募集!

相馬野馬追の聖地として、太田神社前の沿道に「ひまわり」を植えました。会後は相馬野馬追の当日まで、園さんのご協力をお願いいたします。園元のひまわりを大切にしましょう。

2012年
 6月3日 9時～ 除草・堀上 ひまわりは
 6月17日 9時～ 除草・堀上 水はけが良
 7月22日 9時～ 草刈・除草 いです

(草刈り・刺スコップ等お持ちの方はご持参下さい)
 集合場所：中太田集会所広場(太田神社西)




2012年6月～7月 KIZUNA文字植え付け 除草・草刈り





2012年7月28日
ひまわりロード
御出陣風景



2013.05.17中太田実証田(田植え)





野馬追の里 (おひさまプロジェクト)
平成25年度 実証田

主催：太田復興会議・太田区長会・太田まちづくり委員会 支援：新潟大学

国指定重要無形民俗文化財

相馬野馬追

2013年 7月27日・28日・29日



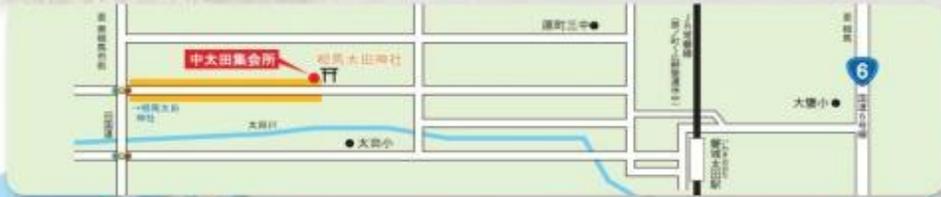
おひさまプロジェクト

イベント開催案内ボランティア参加募集

7月20日(土) 9時～12時 集合場所：中太田集会所広場 (太田神社西)

イベント内容：水田草刈・沿道境整備(9時～11時) 多珂うどん無料試食 ほか

相馬野馬追の里として、太田神社前の沿道で「実証田」を行っています。



- 主催** 太田地区復興会議 / 太田地区区長会 / 太田まちづくり委員会
- 後援** 南相馬市 / 中ノ郷騎馬会 / 南高ライスセンター / NPO法人実践まちづくり / 社南相馬除染研究所 / NPO法人民間稲作研究所 / 原町有機稲作研究会 / ひばり地区復旧・復興対策協議会 / 一般社団法人えこえ南相馬研究機構 / 新潟大学農学部 / 太田大壘スポーツクラブ
- 問い合わせ先** 「相馬野馬追の里 おひさまプロジェクト」実行委員会 太田生涯学習センター内 TEL 0244-22-3821

2013年7月20日 実証田 イベント開催



★開会式の様子

2013年7月27日



1 南相馬市の平成25年産米の検査結果

- 南相馬市における実証栽培の全袋検査の結果、平成25年12月末現在、10,349袋のうち100 Bq/kgを超えた玄米は27袋。
- これらはいずれも旧太田村で生産されたもの。
- その他の旧市町村では、これまでのところ基準値超過は見られておらず、50 Bq/kg未満がほとんど(99%)の状況。
- 小高区等の作付制限区域内で実施された試験栽培の結果、9ほ場のうち5ほ場で100 Bq/kgを超える値がみられた。

表1 実証栽培の全袋検査結果(平成25年12月末現在)

	旧市町村	検査数量	検査結果				
			25Bq未満	25～50Bq	51～75Bq	76～100Bq	100Bq超
合計		10,349	8,318	1,273	412	319	27
原町区	小計	2,580	684	1,139	411	319	27
	高平村	313	251	62	0	0	0
	太田村	1,589	212	693	341	316	27
	大甕村	38	0	29	8	1	0
	石神村	640	221	355	62	2	0
鹿島区	小計	7,424	7,379	44	1	0	0
	鹿島町	522	522	0	0	0	0
	八沢村	1,649	1,613	35	1	0	0
	真野村	1,298	1,295	3	0	0	0
	上真野村	3,955	3,949	6	0	0	0
カントリーエレベータ		345	255	90	0	0	0

(備考)スクリーニングレベルを超えたものは、詳細調査結果を反映。

南相馬市における 玄米の全袋検査結果と 基準値超過の発生要因調査

1. 南相馬市の平成25年産米の検査結果
2. これまでの調査状況
3. 放射性セシウムの低減対策
4. 調査結果の概要
5. その他、引き続き調査が必要な事項

平成26年2月14日

農林水産省
福島県

4 調査結果の概要

(基準値超過の発生状況)

- 基準値超過は南相馬市内の特定の地域(原町区旧太田村等)に限定されていることから、当該地域に特有の要素が影響しているものと推察される。

(土壌の影響)

- 南相馬市の基準値超過事例では、いずれも吸収抑制対策としてカリ施肥が実施されており、土壌中の交換性カリ含量についても概ね目標水準であった。
- 一方、土壌中の粘土の割合が低い、放射性セシウムの固定力が比較的弱い、作物に吸収されやすい交換態の放射性セシウムの割合が高い等の特徴が見られた。
- さらに、基準値超過ほ場の土壌を用いて幼苗による吸収試験を行ったところ、対照ほ場の土壌に比べて放射性セシウムが多く吸収されていたことから、土壌が基準値超過の要因の一つと考えられた。

調査結果の概要

(用水の影響)

- 旧太田村の基準値超過ほ場はいずれも太田川を水源とする用水を利用しているため、用水を調査したところ、太田川以北の他の河川と比べると、作物に吸収されやすい溶存態の放射性セシウム濃度がわずかながら高い傾向がみられた。
- しかしながら、試験栽培の基準値超過ほ場の中には、放射性セシウムが検出されない(^{134}Cs , ^{137}Cs とも0.1Bq/L 未満の)地下水やため池を水源とするものがあつた。また、ポット試験で用水の影響を調べたところ有意な差は見られず、現在のところ用水の米の放射性セシウム濃度への影響は確認されていない。

(放射性セシウムの低減対策)

- これまでの調査の結果、土壌の特性が一定程度影響していると考えられることから、基準値超過がみられた地域では、土壌からの吸収を抑制するため、放射性セシウムを固定する効果が期待されるゼオライトの施用、カリ肥料の増肥(基肥)を進めることとする。
- 具体的な施肥設計については、10a当たり塩化カリ50kg＋ゼオライト1tを基本とし、さらに施用量の異なる複数の区を設け、効果的な対策の検証を行う。

国・県は土壌と特定！しかし

- 国・県は土壌の特性を主たる要因としているが、春先の耕起から収穫まで管理した内容から、東電の廃炉に伴う瓦礫処理時の放射性物質での汚染や水の要因は払しょくできない。

営農することの大切さ
作付することで放射性セシウムは低減できる

2014年3月9日
南相馬市中太田地区説明会
野中昌法(新潟大学)

【農地再生への取り組み活動】

- 太田地区では震災直後から区長会やまちづくり委員会を中心に、地域の農業復興にいち早く取り組んできた。
- 2014（H26）年2月、「地域復興基盤総合整備事業」への取り組み決定、2015年から事業開始。
- 2015（H27）年11月、地域の若者や女性が中心となり「太田地区アグリパーク構想〔企画書〕」を作成。
地域一体となり農地を守っていく意思を確認。
- 2016（H28）年2月、太田地区の「地域の農業は自分たちで守る」の理念のもと集落営農組織「農事組合法人あいアグリ太田」を立ち上げ活動を開始。

企業概要

社名	農事組合法人 あいアグリ太田
所在地	〒975-0041 福島県南相馬市原町区下太田字榎町16番地
代表者	代表理事 中山 孝信
設立年月日	2017年(平成29年2月1日)
資本金	910万円(設立時210万円)
売上高(2024年)	4,946万円
従業員数(2025年2月末現在)	10人(組合員7人、パート事務員2人、会計1人)
事業内容	農業(水稲・大豆・玉葱・ニンニク・カボチャ)

企業理念

輝く環境と夢を未来の子供たちに！
地域の農業は自分たちで守る

沿革

- H29年2月 農事組合法人あいアグリ太田設立
- R2年9月 乾燥施設及び格納庫一式建設
- R4年1月 事務所建設
- R4年2月 所在地を現住所に移転
- R5年9月 南相馬市園芸施設整備事業採択
- R7年7月 南相馬市園芸施設整備事業着工
- R8年4月 南相馬市園芸施設運用開始



2016年あいアグリ太田設立

- 2016年(H28)任意組織として活動開始。
- 2017年(H29)「農事組合法人あいアグリ太田」設立。



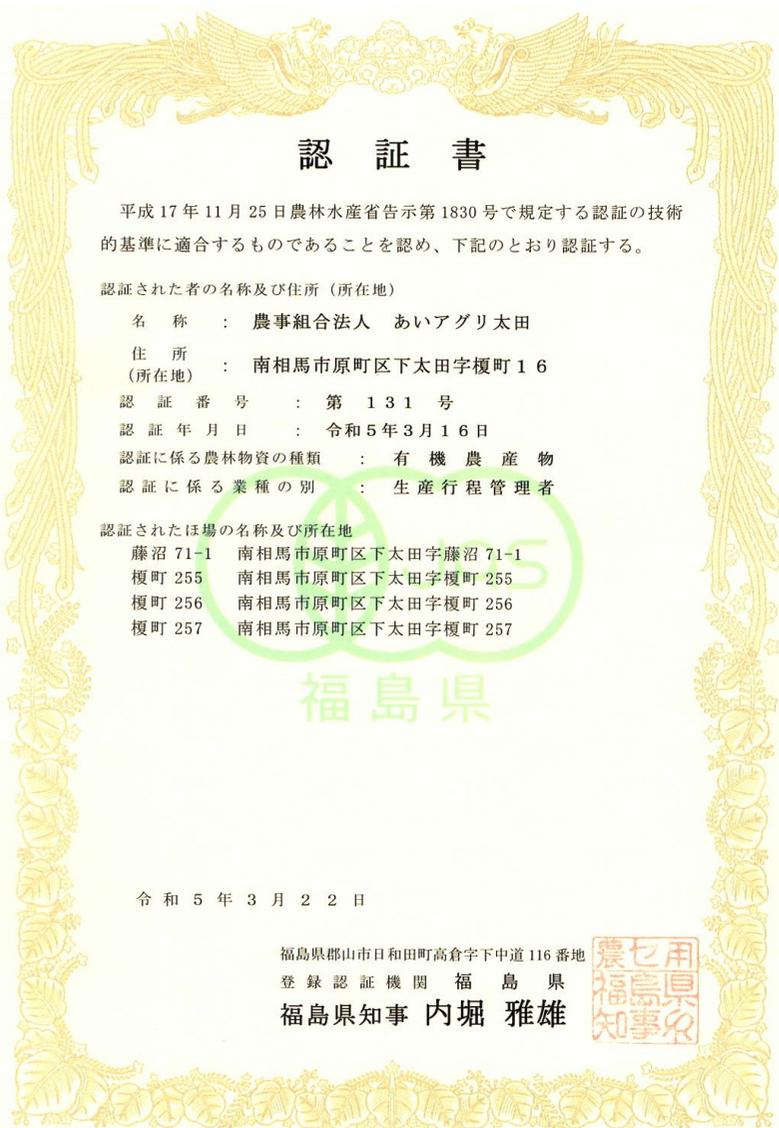
太田地区の農地再生への取り組み

環境にやさしい農業を目指して

取組①有機農業への取り組み

- 令和元年から取り組むも、育苗培土の問題が発生。
- 令和3年度から新たにスタート
- 令和5年3月22日有機JAS認証取得
- 令和6年3月4日J-GAP認証取得

有機JAS認証取得・J-GAP認証取得



認証登録証明書

農事組合法人あいアグリ太田

〒975-0041 福島県南相馬市原町区下太田字榎町 16 番地

農産物取扱い施設

出荷・調整・精米施設

〒975-0041 福島県南相馬市原町区下太田字榎町 16 番地

乾燥調製施設 2

〒975-0041 福島県南相馬市原町区下太田字藤沼 47-1

JGAP 農場用 管理点と適合基準 穀物 2022

認証の種類: 個別

認証農産物の分類: 穀物

品目名: 米(玄米)

認証対象セクター: 穀物(栽培・収穫・取扱い)

認証登録番号:

MIC-S-070000236

JGAP 初回認証日:

2024 年 3 月 4 日

発行日:

2024 年 3 月 4 日

有効期限:

2026 年 3 月 3 日



木村 朋聡

Authorised Signature:

Tomoaki Kimura

GM, Japan

Intertek Certification Japan Limited,
Nihonbashi North Square 1-4-2
Nihonbashi Horidome-cho, Chuo-ku,
Tokyo 103-0012 Japan

JGAP

取組② スマート農業

2024年農業技術10大ニュース

1位

「両正条植え」
技術を開発

稲の株間と条
間がそろって
楽に機械除草



2位

アイガモロボの
効果を実証

有機栽培水稻で除草
労力を6割削減



3位

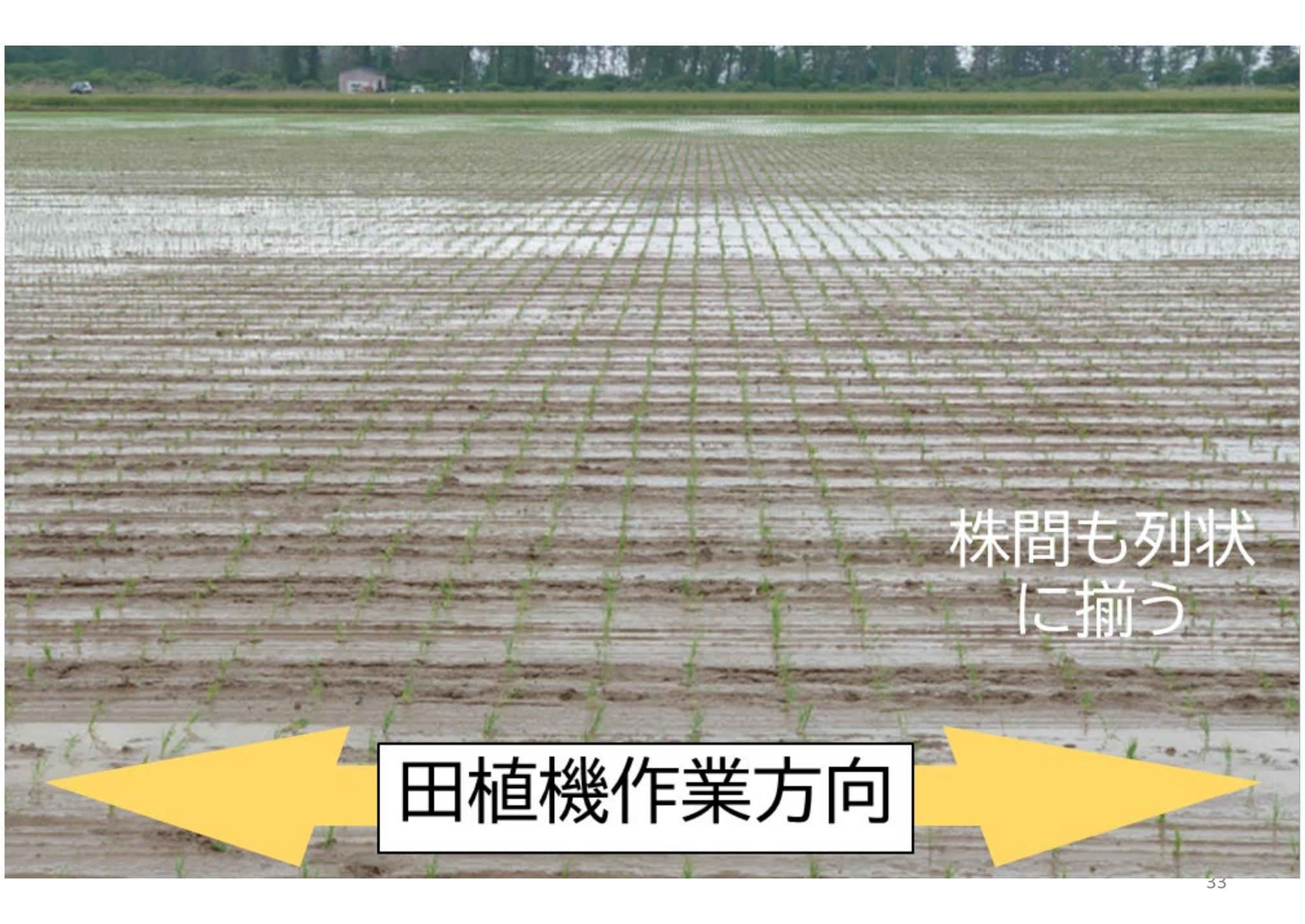
カラムナー性リンゴ
「紅つるぎ」育成

枝が広がらずに管理作
業を省力化



取組②-1 両正条植え技術（有機）

1位の両正条植えは、苗を条間・株間の両方向に一直線に並ぶよう、畧盤の目状に植える技術。農研機構が開発した。有機栽培では田面にレーキをかけて除草するが、通常の条間除草に加えて、それと直行する株間除草がしやすくなる。



株間も列状
に揃う

田植機作業方向

取組②-2 アイガモロボ

アイガモロボの仕組みは、除草ではなく「抑草」。ロボットが水田全体を縦横無尽に走り回り水を濁らせることで、雑草の光合成が妨げられ生育が抑制されます。これにより、従来の方法と比較して機械除草の回数を削減できる、より効率的でスマートな雑草対策です



2024年
24ロボ+機械除草圃場
2025年
小学・ベトナム手植え
24ロボ+田車除草

2025
あいアグリ太田様
ロボ配置図

2024年
23ロボ2台+機械除草圃場
2025年
両正条化田植え
23ロボ・24ロボ+機械除草
(あいアグリ)

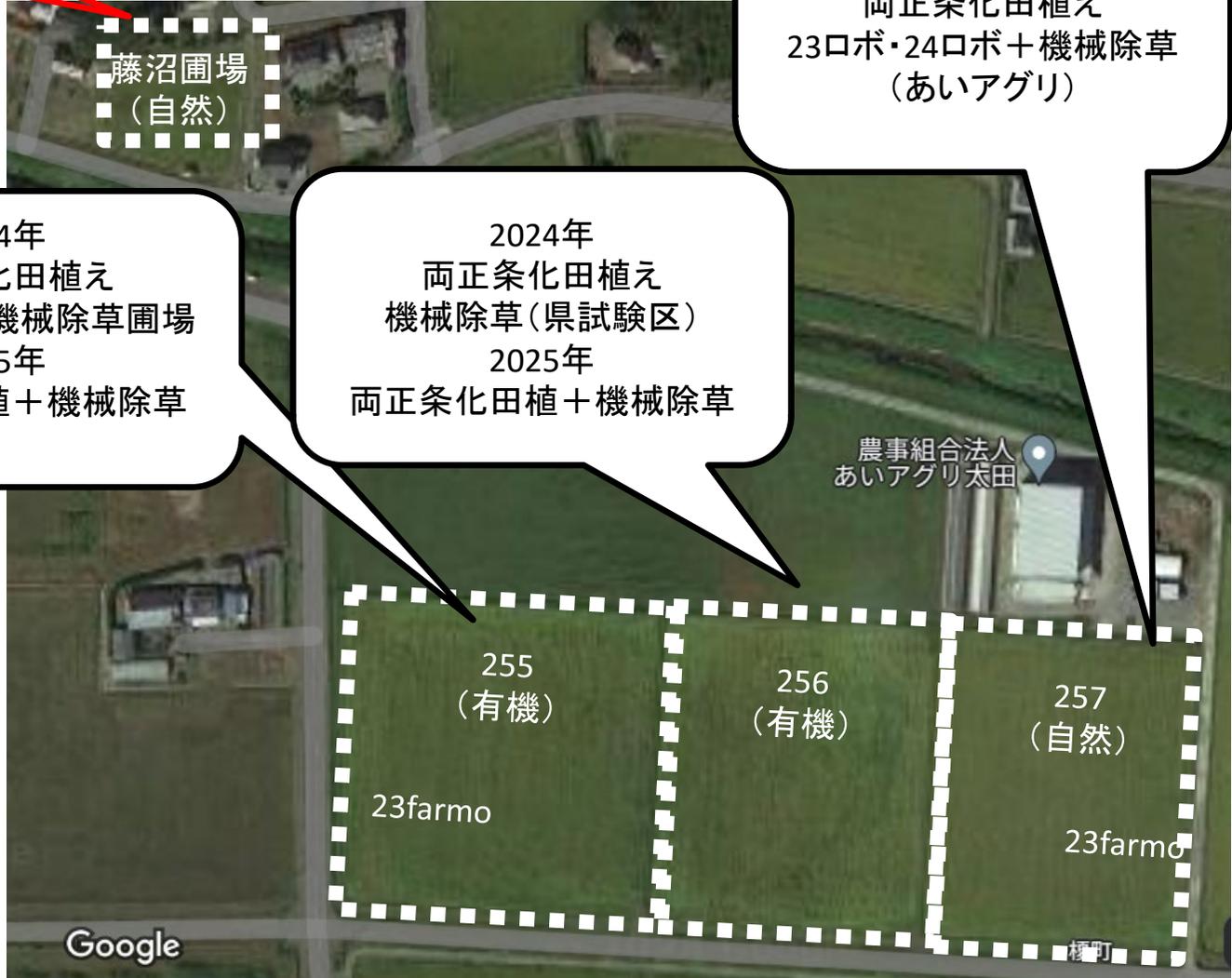
24ロボ



23ロボ



水田ファーモ



2024年
両正条化田植え
23ロボ2台+機械除草圃場
2025年
両正条化田植+機械除草

2024年
両正条化田植え
機械除草(県試験区)
2025年
両正条化田植+機械除草

取組③ 各種研修の受け入れ

- 持続可能な農業構築のため、耕種農業と園芸ハウスによる複合的経営に取組み、研修会や現場見学会を通じて地域での周年雇用や若者や女性による地域のリーダーを育成し、組織的に農業を行う環境を整えてきた。



取組④ 外国人との共生モデル事業

- 令和4年から、地域の外国人住民参加による、地域住民と共に安心して生活できる、「多文化共生社会」の実現に向けた取り組みを行っている。



取組④-1 文化祭・運動会への参加



取組④-2

地域防災訓練・新年会



取組④-3

農業体験研修など



取組⑤ 農福連携への取組

- 令和4年から農福連携に取り組んでいる。
- JAグループ・福島県授産事業振興会や地元福祉施設と連携し取り組んでいる。
- 田植後の苗箱や玉葱トレイ洗浄、玉葱収穫時の除草作業などの作業を依頼。



取組⑥ 地域学校協働事業

- 令和3年から、地域の特性を生かし、学校では学べない地域資源を生かした体験学習を始めた。
- 米作りを通じた「食育」などの体験実習を行い、社会性など、いわゆる「生きる力」を育む実践を行っています。



取組⑥-1 農業体験会（田植え）



取組⑥-2

農業体験会（稲刈り）



取組⑥-3農業体験会（稲刈り）



取組⑥-4 農業体験会（脱穀）



ご清聴ありがとうございました

令和7年3月12日(水)
浪江町防災交流センター



農事組合法人あいアグリ太田
奥村 健郎